

### 日本郵船 自動車運搬船「CASTOR LEADER」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、日本郵船のご協力のもと、8月6日（日）に横浜・大さん橋にて開催された「海洋都市横浜うみ博」の機会を捉え、自動車運搬船「CASTOR LEADER」の見学会を開催し、1,300名以上が参加しました。

参加者は約 7,000 台の自動車を積載できる全長約 200m、高さ 51m の巨大な船に船尾より乗り込み、貨物デッキでは、積載する車高に応じて天井の高さを変える「リフトブルカー」、船の歴史や船員の生活などが紹介されたパネルや輸出される様々な車などの展示を見学するほか、



自動車の積み付けの実演では、左右 10cm・前後 30cm 間隔で自動車を積み込む作業員の優れた運転技術を参加者は熱心に見入っておりました。また、自動車を船に固定する作業（ラッシング）や機関士とエンジンのボルトを締める作業など体験するコーナーも設置され、子供達にとっては思い出に残る楽しい夏休みとなりました。

操舵室（ブリッジ）では、海図や船を操縦する計器などの説明パネルや救命道具や海賊に備えた防弾チョッキなども展示しており、参加者は船長や機関長などに熱心に質問しておりました。また、船長服・船長帽の試着スペースもあり、同船の船長との記念撮影をしておりました。

普段見ることのできない船内や荷役の様子を知る機会を得て、参加者からは「あんなに巨大な船を 20 数名で動かしているとは信じられない」「いろいろな港を経由して日本は貿易していることが分かった」などのコメントが寄せられました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

